

千葉県の保護上重要な野生生物 —千葉県レッドデータブック— 追録

第 6 号（令和 6 年 3 月）

○ 本号での変更

本号で行う変更は、次の 3 種です。詳細については次ページ以降を御覧下さい。

種名	変更内容	変更理由
ユキガイ	X→Aへカテゴリー変更	県内からあらたに発見された。
クルマシダ	Aとして新規追加	県内からあらたに発見された。
ドロヒメカワイワタケ	Aとして新規追加	県内からあらたに発見された。

○ 本追録の位置づけ

千葉県では、保護すべき貴重な野生生物のリストである「千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—」及び「千葉県レッドリスト」をおおむね 5 年の間隔で発行してきました。しかし、毎年のように未記録の野生植物の発見が報告され、5 年の間隔では緊急時に対応できないことが明らかとなってきました。そこで平成 22 年度から、年一回、レッドデータブック・レッドリスト掲載種の追加、ランク変更、削除等を行い、追録として公表しています。

本追録は、緊急を要する絶滅危惧生物のランクの改訂等を掲載し、広く県民に最新の情報を伝えることを目的としています。このため、冊子体のほかインターネットによる公開を行っています。

○ レッドデータランク等について

本冊子でランク変更、追加、削除がなされた種については、本冊子の記述が優先し、以前に発行された「千葉県レッドデータブック」及び「千葉県レッドリスト」の記述は無効となります。

千葉県の保護上重要な野生生物 —千葉県レッドデータブック— 追録第 6 号（令和 6 年 3 月）
2024 年 3 月発行
編集 千葉県希少生物及び外来生物リスト作成検討会
発行 千葉県環境生活部自然保護課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1 番 1 号
電話 043-265-3601 / ファックス 043-265-3615（千葉県生物多様性センター）
URL <http://www.bdcchiba.jp/>

2006	X
2011	X
2019	X

Meropesta nicobarica (Gmelin, 1791)

【種の特性】 21世紀初頭頃から、四国以北の黒潮沿岸域の内湾環境で生息確認例が増加している種。温暖化による分布拡大と捉えられる。日本海側での分布北限の但馬（兵庫県北部）の記録は弥生～古墳時代頃のものではないかと推測される。四国以北の群は、琉球列島の群よりも殻が後方へ伸びず、後背縁もほとんど窪まない等、殻形態に差異のあることから、近年分布を拡大しているものの供給地は琉球ではない可能性もある。

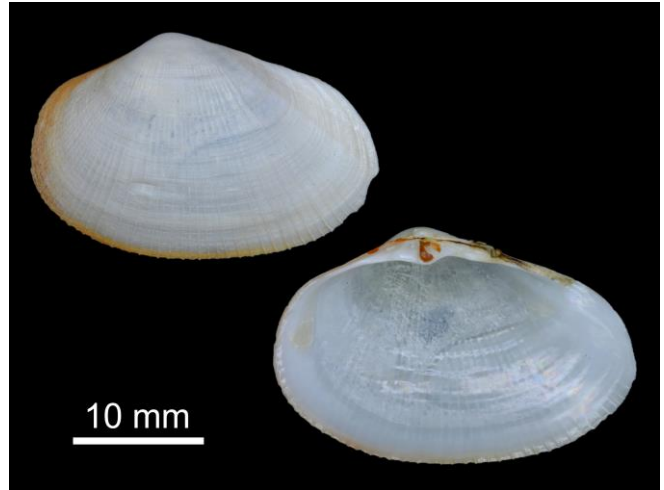
【分布】 房総半島・但馬（兵庫県北部）～琉球列島、インド～西太平洋。

【県内の状況】 2023年12月22日に、伊藤浩三氏によって、館山市西崎で打上げられた軟体部が入った合弁個体が採集された。新たに定着したものと考えられる。近年、本種の生息は確認されていなかったため、今後の定着・個体数変動を確認する必要はある。

【保護対策】 本種はアマモ場等の潮下帯砂泥底に生息する種であり、確認された地点とその周辺海域において、埋立・土砂や有害物質の流入等の生息環境を悪化させる行為があってはならず、また乱獲等を行わせてもならない。

【文献】 児島格. 2006. 大阪湾 男里川・近木川河口周辺に生きる貝. 63 pp. きしわだ自然友の会, 大阪.; 三本健二. 2013. 第13回四国貝類談話会（高知県）の記録. まいご, (12): 1-3.

【写真】 2023年. 館山市／殻長26.7 mm×殻幅10.2 mm. 千葉県立中央博物館蔵（CBM-ZM 188152）／照屋清之介



【掲載理由】 房総半島が分布地とされていたものの、確実な地点と標本を明らかにできていなかったことと、相模湾では絶滅とされていたことにより、Xと評価してきた。生貝が確認されたことにより、Xでないことを県民に知ってもらうために、速報性を重要視して、掲載することとした。

（黒住耐二・照屋清之介）

A クルマシダ チャセンシダ科

新規掲載

2006	-
2011	-
2019	-

Asplenium wrightii D.C.Eaton ex Hook.

【種の特性】常緑性。根茎は短く、直立し、暗褐色の鱗片をつける。葉を叢生する。山林中の比較的湿った地上やまれに岩上に見られる。

【分布】本州（伊豆諸島・神奈川県・伊豆半島以西）、四国、九州、琉球列島（沖縄島以北）。

【県内の状況】2023年に南房総市和田町の峡谷2ヵ所の湿った岸壁で群落が確認された。2ヵ所の内1ヵ所は沢の中の概ね250mの広い範囲で群生していた。

【保護対策】森林性のシダで、空中湿度が高い環境を好む。生育地が限られていることから、周辺の森林と共に保全するのが望ましい。

【文献】千葉道徳. 2023. 房総半島でクルマシダを発見. 日本シダの会会報 4, (44) : 11-12.

【写真】2023年. 南房総市 / 千葉道徳



【掲載理由】県内での新規発見（千葉2023）であり、国内分布では東限にあたるため、分布的にも貴重である。また、この種は県内では分布が限られている上に谷沿いの湿った岸壁という特殊な環境に生育しているため、生育環境の保全が必要であることから、新規掲載することとした。

(千葉 道徳)

A ドロヒメカワイワタケ アナイボゴケ科

新規掲載

2006	-
2011	-
2019	-

Placidium squamulosum (Ach.) Breuss

【種の特性】地上生。地衣体は鱗片状。はじめ円形で、成長に従い、わずかに裂片化しやや不規則な形となり、直径1cmに達することがある。はじめは多少とも点在するが、後に接し、多少とも重なり合う。背面は平滑、褐色、粉霜を欠き、日陰では灰緑色のこともある。湿ると緑色がかかる。腹面には顕著な偽根はなく、淡色の菌糸（あるいはその束）が基物に伸長して固着する。被子器は地衣体中央部に埋没し、背面に孔口部が暗点として見える。子嚢胞子は単室。粉子器は、被子器のように、地衣体中央部に埋没する。

【分布】国内では、北海道・本州・四国の石灰岩地から記録がある。

【県内の状況】2016年に成田市の1地点で採集されたが、2022年には確認されず消失したとみられた。芝山町の1地点で2022年に生育が確認された。

【保護対策】生育地の環境を良好に保つことが望まれる。

【文献】Harada H. 1993. A taxonomic study on *Dermatocarpon* and its allied genera (*Lichenes*, *Verrucariaceae*) in Japan. *Natural History Research* 2: 113-152.

原田浩・坂田歩美・桑原健. 2023. *Placidium squamulosum* ドロヒメカワイワタケ（子嚢地衣類、アナイボゴケ科）は千葉県に産す. *Lichenology* 22: 37-42.

【写真】2022年 芝山町 標本：CBM-FL-42545 / 原田 浩



【掲載理由】県内での新規発見（原田他2023）。国内では石灰岩地のみ知られていたが、県北部の2地点で発見された。1地点では消失したとみられる。もう1地点は、台地上の畑地の周辺であることから、環境の変化で消失する可能性がある。

(原田 浩)

千葉県の上重要な野生生物 分類群・カテゴリー別掲載種数

(令和6年3月)

* 本追録により、レッドリスト動物編2019年改訂版、植物・菌類編2023年改訂版より変更となった箇所を赤字で示した。

[動物]

カテゴリー		消息不明 ・絶滅生物 (X)	最重要 保護生物 (A)	重要保護 生物 (B)	要保護 生物 (C)	一般保護生物 (D)	総計	(参考) 情報不足
分類群								
脊椎動物	哺乳類	3		4	4	6	17	2
	鳥類	20	46	38	33	19	156	
	両生類・爬虫類		6	7	4	6	23	1
	魚類	2	5	9	8	5	29	
脊椎動物 小計		25	57	58	49	36	225	3
無脊椎動物 (昆虫類)	カゲロウ目		2			3	5	
	トンボ目	7	19	13	6	9	54	
	カワゲラ目		1			1	2	
	ゴキブリ目					1	1	
	カマキリ目				1	1	2	1
	バッタ目	1	7	4	3	5	20	4
	ナナフシ目				0	1	1	
	カメムシ目	1	10	5	13	6	35	
	アミメカゲロウ目			1	1		2	
	コウチュウ目	3	50	48	42	15	158	
	ハチ目		6	8	18		32	
	シリアゲムシ目			1	3	1	5	
	ハエ目	6	5	10	4	4	29	
	トビケラ目	1	2	2	5	4	14	
チョウ目(チョウ類)	5	4	9	16	0	34		
チョウ目(ガ類)	2	1	4	7	2	16	3	
無脊椎動物(昆虫類) 小計		26	107	105	119	53	410	8
無脊椎動物 (昆虫類以外)	クモ類		3	3	2	2	10	
	甲殻類	0	14	3	7	12	36	1
	多足類	3	14	12	7	1	37	
	貝類	17	90	57	28	14	206	
無脊椎動物(昆虫類以外) 小計		46	228	180	163	82	289	9
合計		97	392	343	331	171	924	12

[植物・菌類]

カテゴリー		消息不明 ・絶滅生物 (X)	野生絶滅生物 (EW)	最重要保護 生物 (A)	重要保護生物 (B)	要保護生物 (C)	一般保護生物 (D)	保護参考生物 (RH)	総計
分類群									
植物	シダ植物	8	0	41	27	34	10	17	137
	種子植物	53	4	179	237	135	148	13	769
	蘚苔類	14	1	20	30	6	11	0	82
	藻類	10	3	21	8	2	0	0	44
植物 小計		85	8	261	302	177	169	30	1,032
菌類	地衣類	8	0	25	16	11	20	0	80
	大型菌類	0	0	2	9	15	14	0	40
菌類 小計		8	0	27	25	26	34	0	120
合計		93	8	288	327	203	203	30	1,152